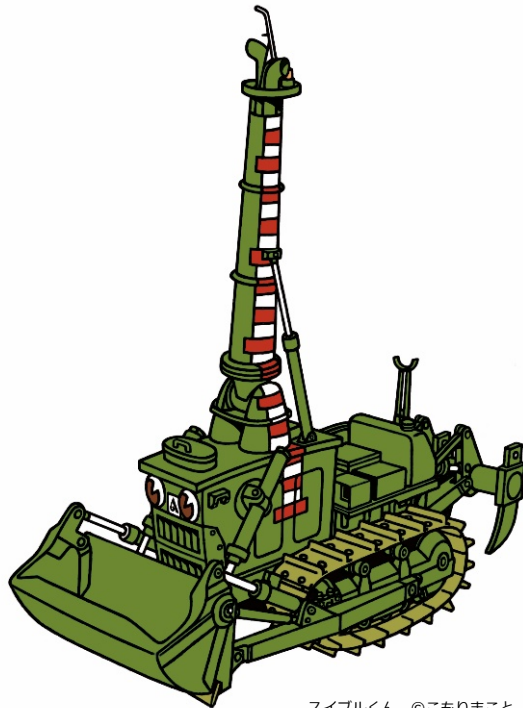


2022年3月期決算説明資料



スイブルくん ©こもりまこと

青木あすなる建設株式会社
2022年5月25日

目次

□ 2022年3月期決算（連結）説明 ③～⑬

□ 2022年3月期決算（個別）説明 ⑭～⑳

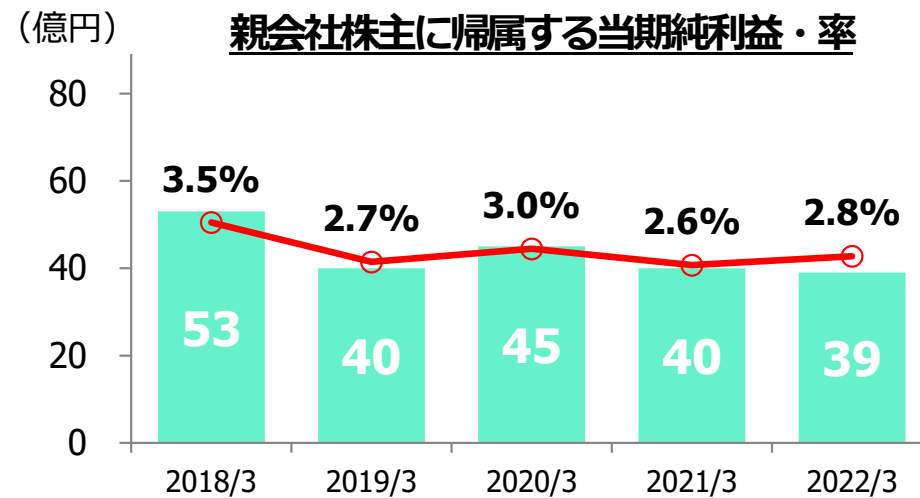
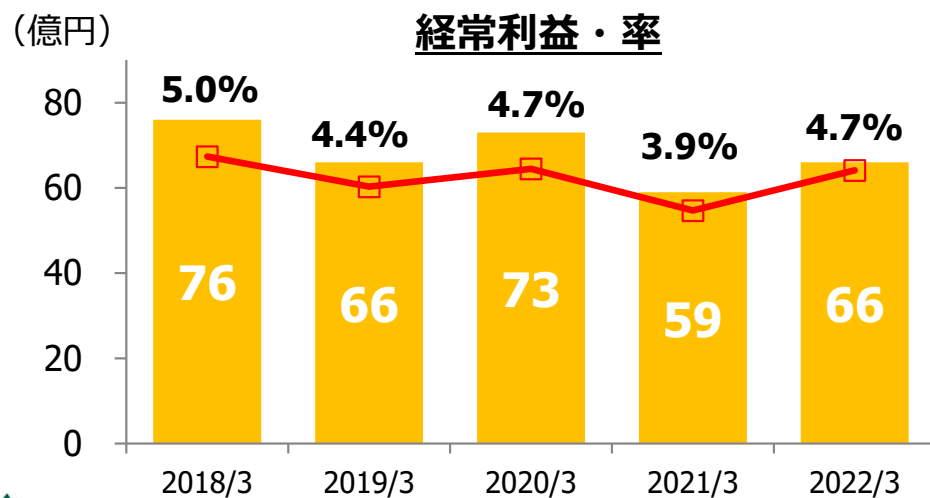
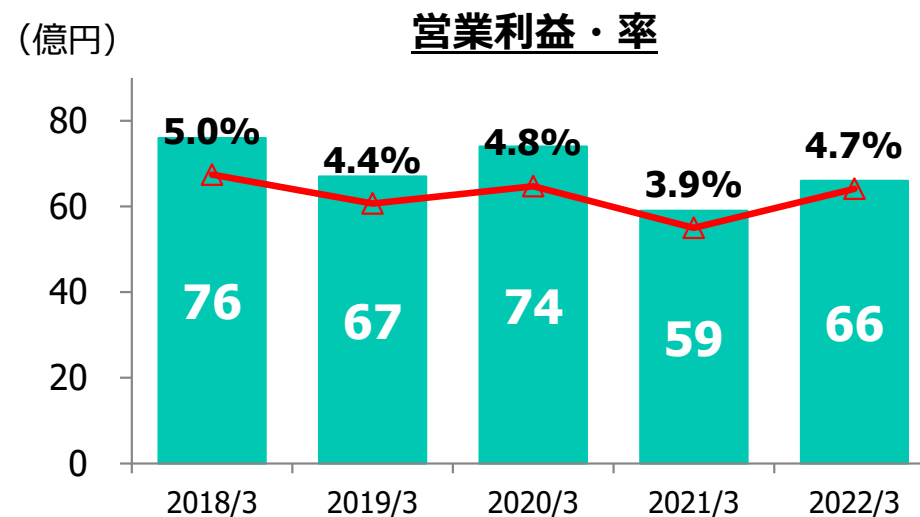
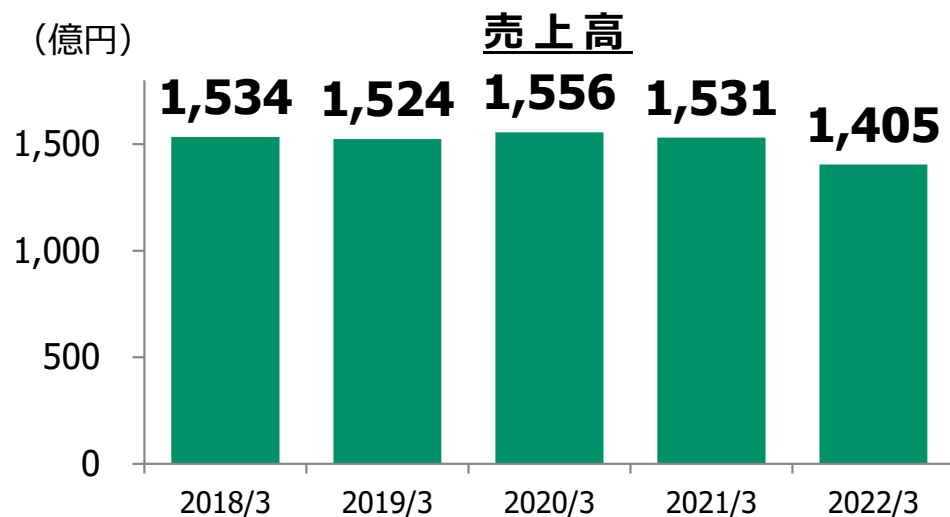
□ 2023年3月期年度経営計画 説明 ㉑～㉓

2022年3月期決算（連結） 説明

業績サマリー（連結）

(億円未満切捨)

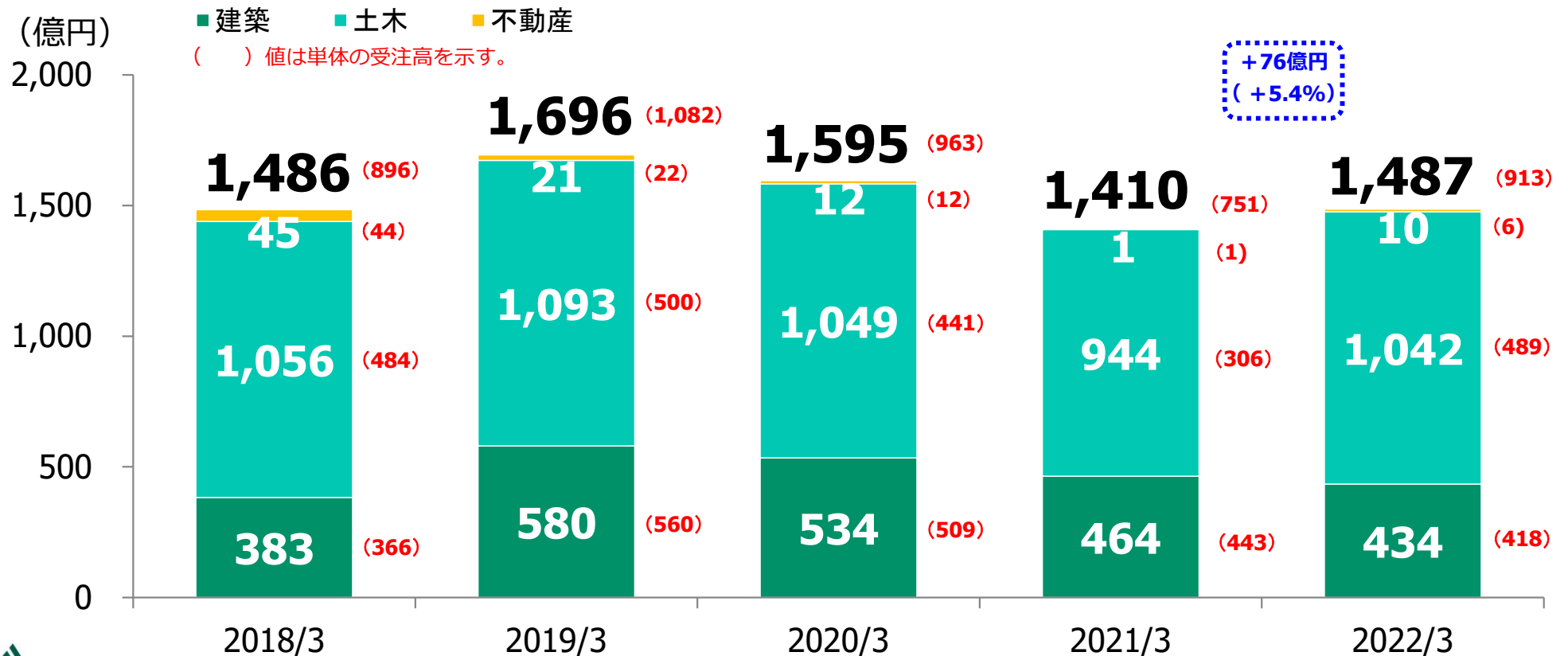
- 売上高は前期比**減収**、営業利益、経常利益は前期比**増益**、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比**減益**。



受注高（連結）

（億円未満切捨）

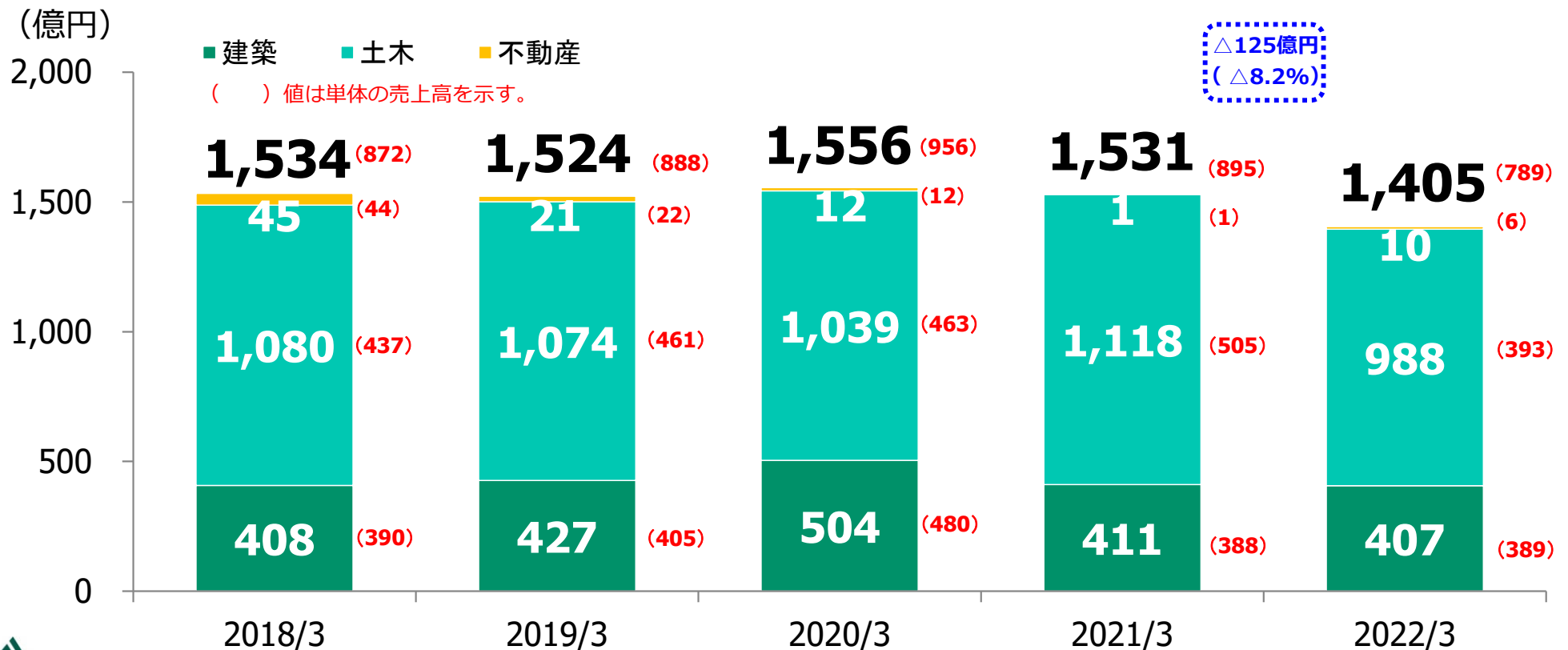
- 建築は官庁・民間とも競争環境の激化により減少し、全体では前期比30億円（△6.6%）の減少。
- 土木は官庁が大規模耐震補強工事の受注等により増加、民間が再生可能エネルギー分野の大規模造成工事受注等により増加し、全体ではグループ会社の受注減をカバーし、前期比98億円（+10.4%）の増加。
- 全体では76億円（+5.4%）の増加。



売上高（連結）

(億円未満切捨)

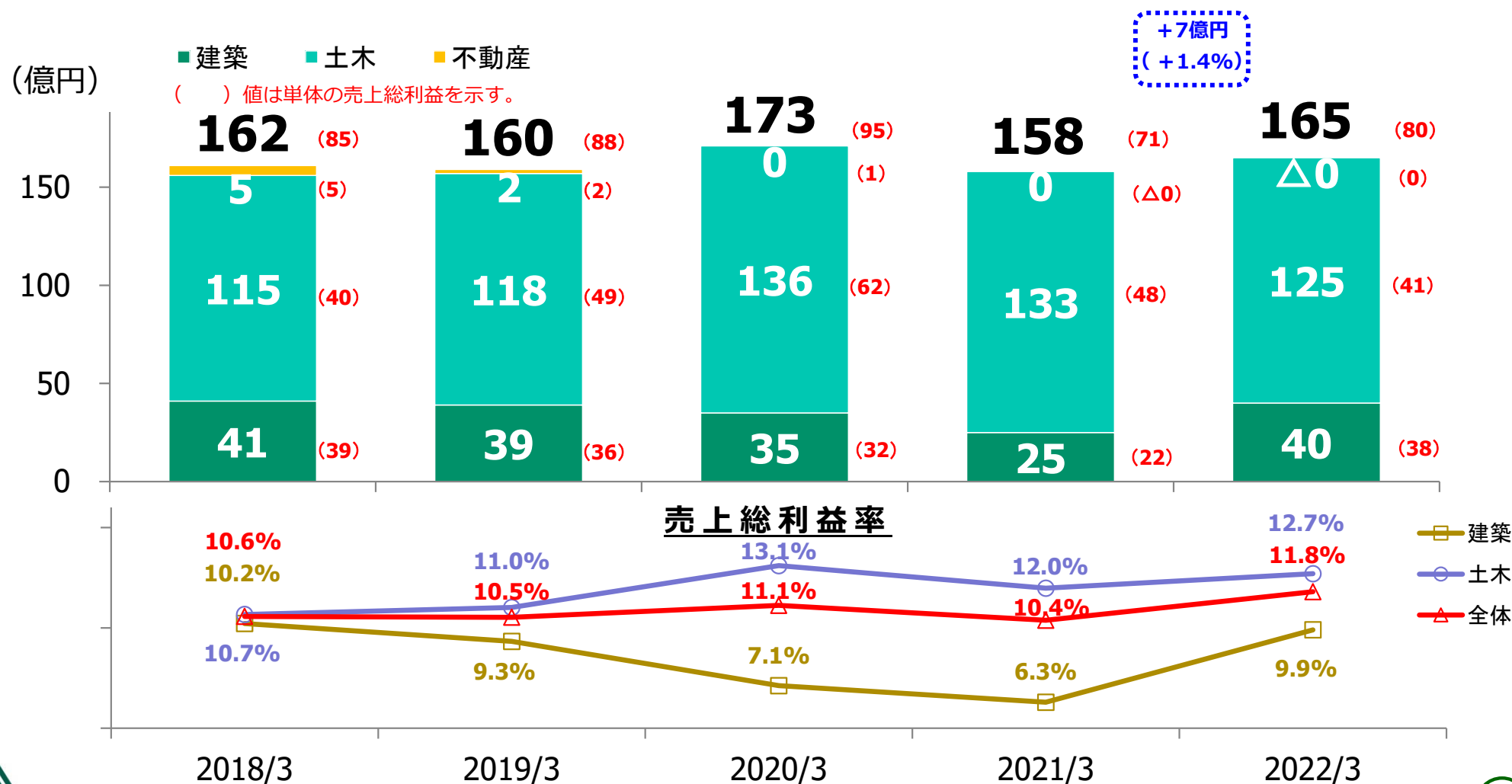
- 建築はグループ会社の当受当完工事の減少等により、前期比4億円（△1.0%）の減収。
- 土木は当社が受注した大型工事の大半が準備工事のみであったため、出来高に大きく寄与せず、前期比130億円（△11.7%）の減収。
- 全体では前期比125億円（△8.2%）の減収。



売上総利益（連結）

(億円未満切捨)

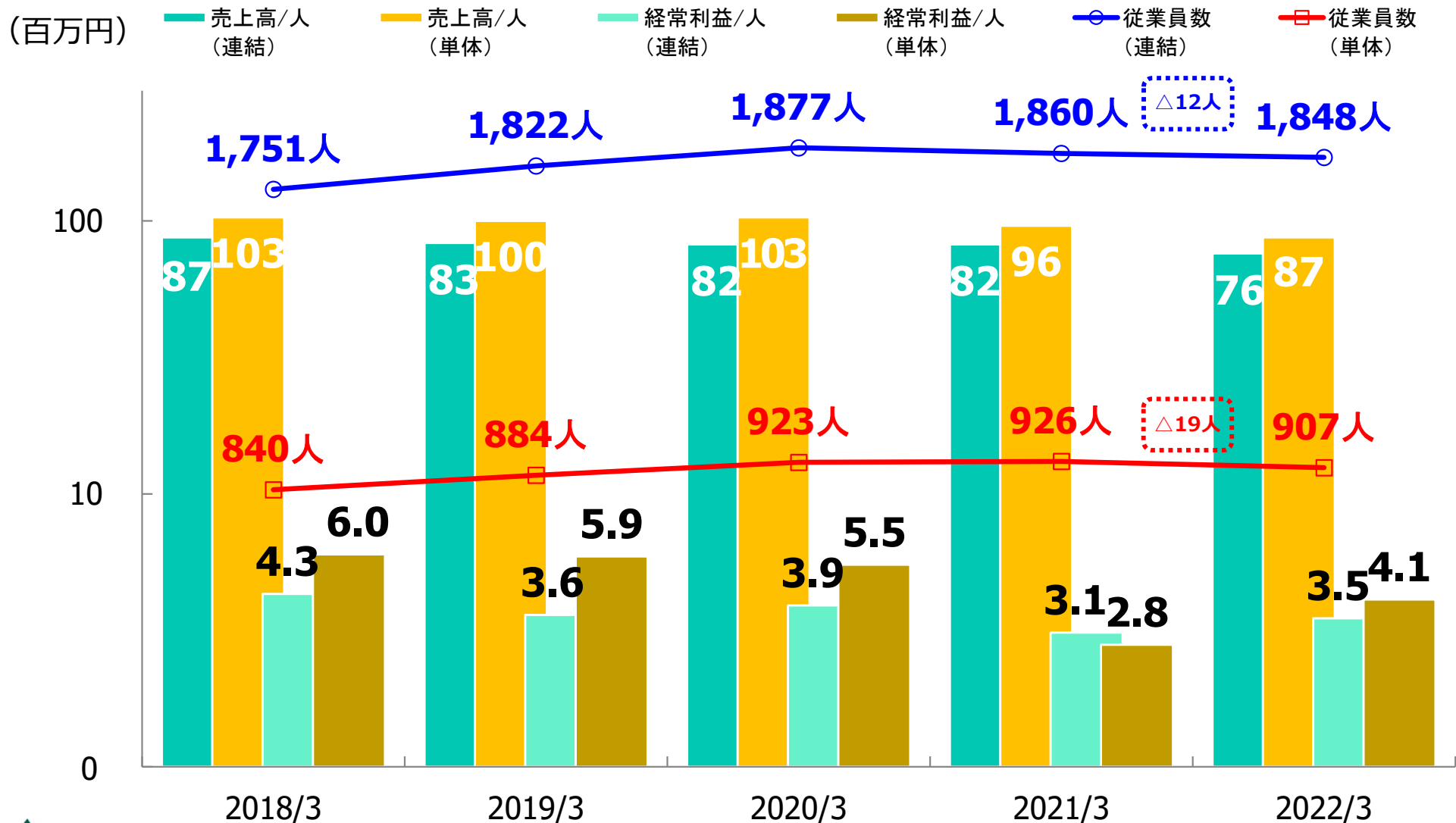
- 建築は当社が前期に低採算工事を一掃したこと等により、前期比14億円（55.1%、利益率+3.6^{ポイント}）の増益。
- 土木は、当社の減収に伴う減益により、前期比8億円（△6.0%、利益率+0.8^{ポイント}）の減益。
- 全体では前期比7億円（+4.5%、利益率+1.4^{ポイント}）の増益。



従業員数および生産性

(売上高/人：百万円未満切捨)
(経常利益/人：十百万円未満切捨)

- 期末従業員数は当社の定年退職等により**減少**、連結・単体とも減収であったものの、一人当たりの経常利益は売上総利益率の向上により売上総利益が増加し、前期比**増加**。



貸借対照表 (連結)

(億円未満切捨)

(単位：億円)

	2021/3	2022/3	増減額
流動資産	(976)	(1,039)	(62)
現金預金	275	316	41
受取手形・完成工事未収入金等	655	679	23
販売用不動産	8	4	△3
未成工事支出金	1	1	△0
不動産事業支出金	0	—	△0
未収入金	22	28	5
その他	13	8	△4
貸倒引当金	△0	△0	0
固定資産	(139)	(137)	(△1)
有形固定資産	(65)	(67)	(1)
無形固定資産	(2)	(2)	(△0)
投資その他の資産	(70)	(68)	(△2)
投資有価証券	40	43	3
繰延税金資産	23	16	△6
その他	9	9	0
貸倒引当金	△2	△2	0
資産合計	1,115	1,176	61

	2021/3	2022/3	増減額
流動負債	(302)	(334)	(31)
工事未払金	190	199	9
未成工事受入金	50	60	9
賞与引当金	16	16	0
その他	45	58	12
固定負債	(83)	(77)	(△6)
退職給付に係る負債	77	70	△6
その他	6	6	0
負債合計	386	411	24
株主資本	(724)	(752)	(27)
資本金	50	50	—
資本剰余金	237	203	△34
利益剰余金	471	499	27
自己株式	△34	—	34
その他の包括利益累計額	(4)	(12)	(8)
非支配株主持分	(0)	(0)	(△0)
純資産合計	729	765	36
(自己資本比率)	(65.3%)	(65.0%)	(△0.3%)
負債・純資産合計	1,115	1,176	61

グループ会社別の業績（1）

（億円未満切捨）



青木あすなる建設

主要事業：総合建設業



北陸新幹線 小松粟津高架橋



南港北中学校増築その他工事



酒々井町役場中央庁舎耐震補強等改修工事

（単位：億円）

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	896	1,082	963	751	913	21.7%
売上高	872	888	956	895	789	△11.8%
営業利益	40	36	39	15	23	57.1%
経常利益	50	52	51	25	37	45.2%
当期純利益	34	38	34	24	26	11.3%
期末従業員数	840人	884人	923人	926人	907人	



グループ会社別の業績（2）

（億円未満切捨）



みらい建設工業

主要事業：海上工事、港湾工事、陸上土木工事、建築工事

（単位：億円）

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	272	291	297	303	231	△6.5%
売上高	336	313	284	278	264	△5.0%
営業利益	12	6	8	8	7	△11.1%
経常利益	12	6	8	8	8	△5.5%
当期純利益	15	4	5	5	4	△17.5%
期末従業員数	310人	324人	331人	318人	311人	



東興ジオテック





主要事業：法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・耐火工事

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	226	223	236	246	248	4.3%
売上高	222	221	220	244	243	△0.6%
営業利益	15	17	16	26	24	△9.0%
経常利益	15	17	16	26	24	△8.7%
当期純利益	9	14	10	16	15	△8.6%
期末従業員数	396人	390人	395人	397人	406人	

※受注高および売上高はグループ内取引高を除き計上。

その他のグループ会社について

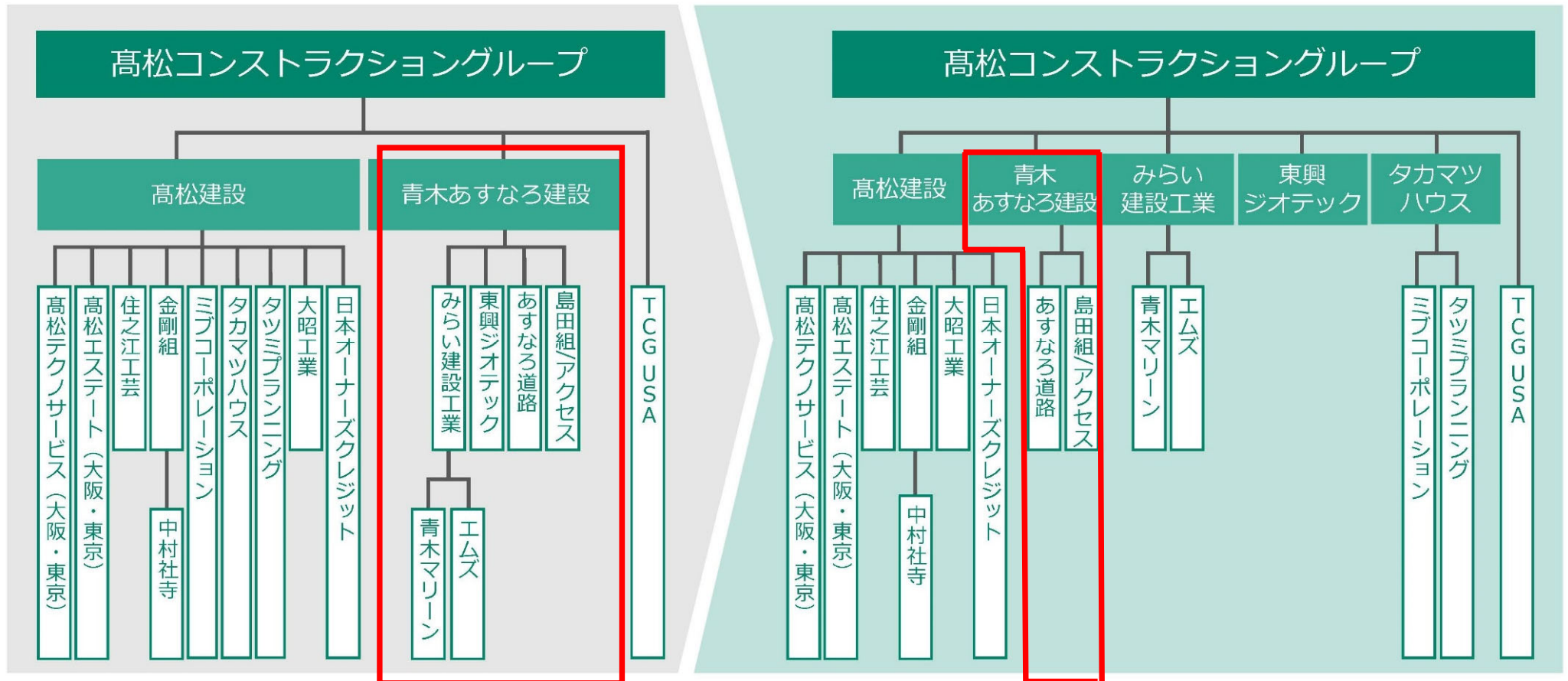
(億円未満切捨)

会社名	本社所在地	主要事業	2022/3 売上高	従業員数 (2022/3末)
 島田組 アクセス	大阪府 八尾市	埋蔵文化財発掘調査、 土木工事	43億円	126人
 青木マリーン	神戸市 東灘区	埋立・浚渫工事、海上 輸送	38億円	43人
 あすなる道路	札幌市 中央区	道路・舗装・土木工事、 合材販売	18億円	27人
 エムズ	東京都 中央区	建築リノベーション工 事	17億円	28人

2022年3月期の売上高が大きい順に記載。

グループ組織再編について(2022年4月1日～)

- 2022年4月1日のグループ組織再編に伴い、みらい建設工業グループ・東興ジオテックが高松コンストラクショングループの子会社となり、2022年度より当社グループは下記のとおりとなりました。

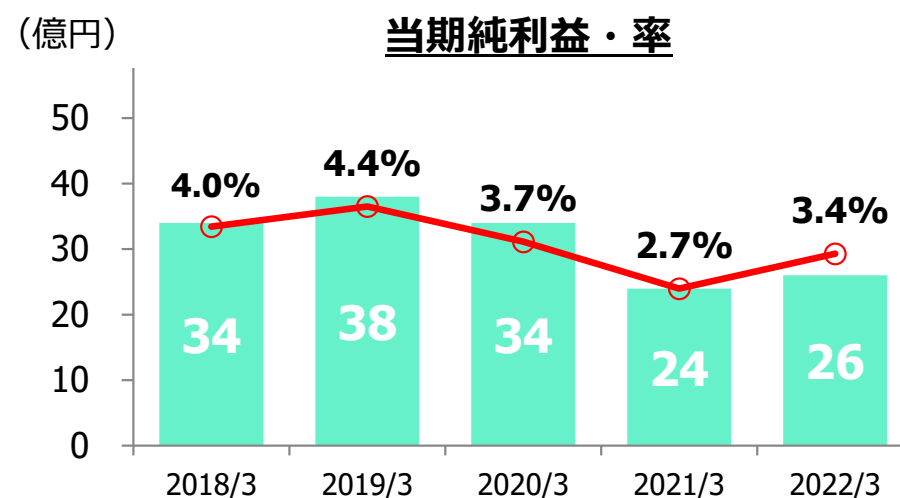
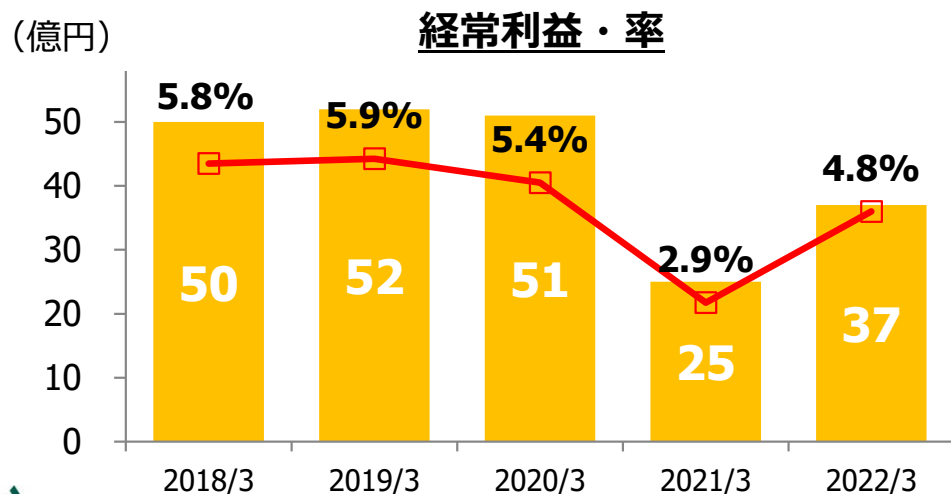
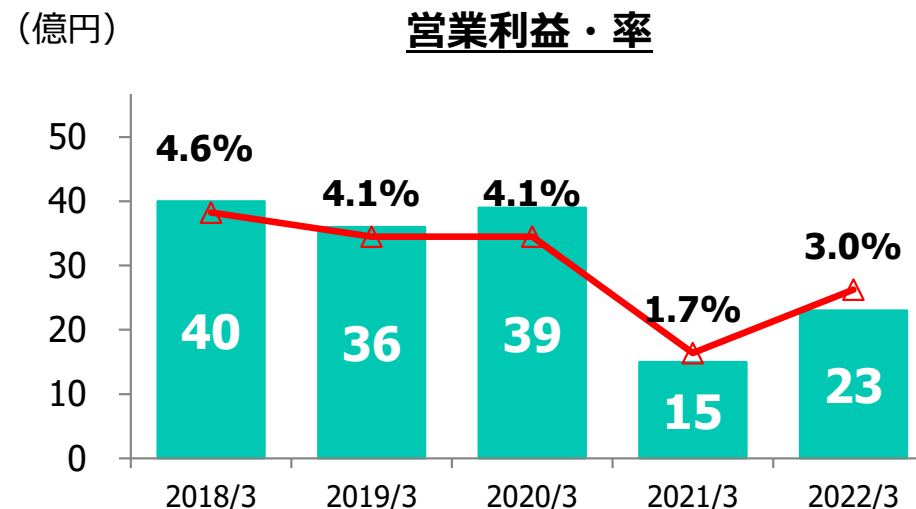
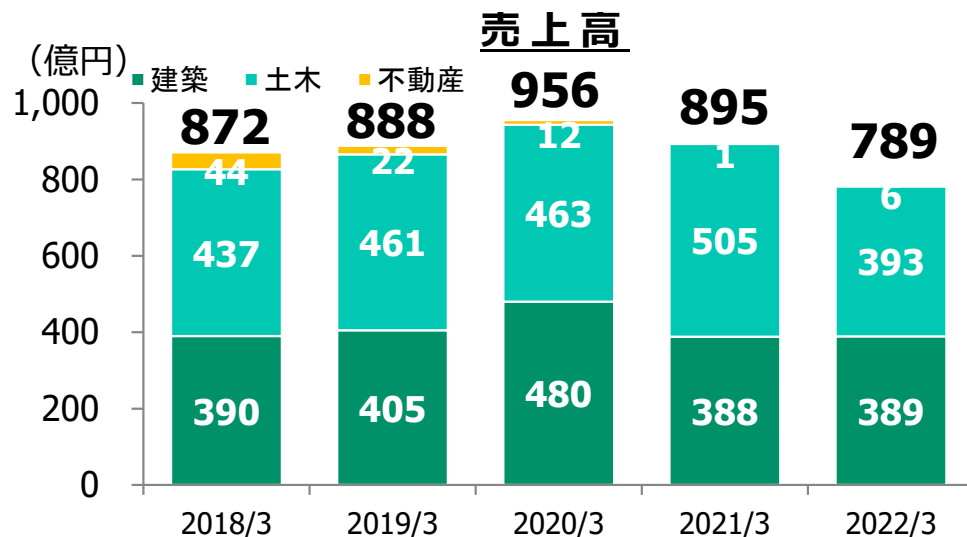


2022年3月期決算（個別） 説明

業績サマリー（個別）

(億円未満切捨)

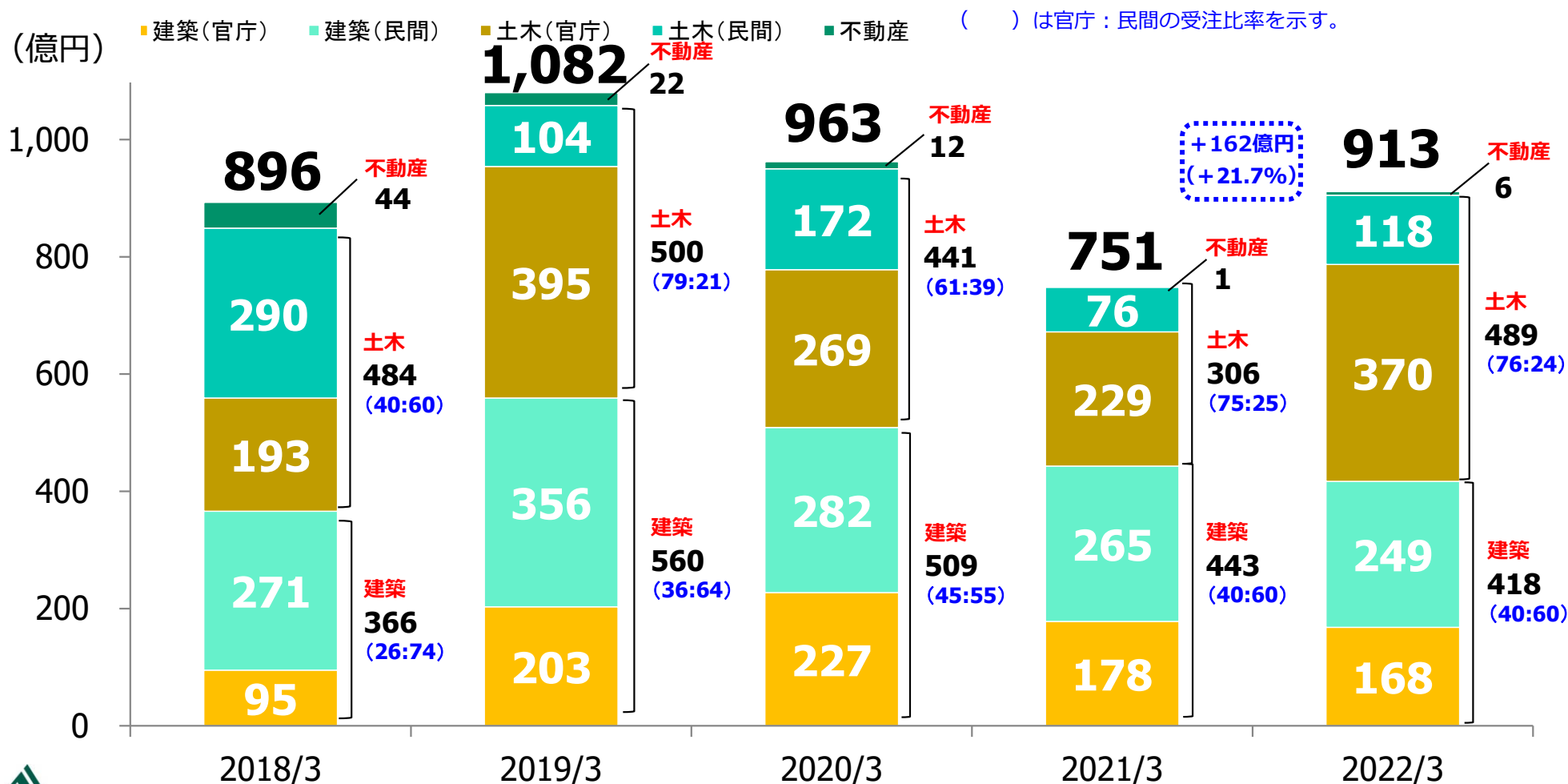
- 売上高は土木セグメントで受注した大型工事の大半が準備工事のみであったこと等により前期比**減収**、営業利益・経常利益・当期純利益は前期に建築セグメントの低採算工事が一掃されたことにより売上総利益が増加し、前期比**増益**。



受注高（個別）

(億円未満切捨)

- 建築は官庁・民間とも競争環境の激化により減少し、建築全体では前期比25億円 (△5.8%) の減少。土木は官庁が大規模耐震補強工事の受注等により増加、民間が再生可能エネルギー分野で大規模造成工事を伴うメガソーラー案件を受注したこと等により増加し、土木全体では前期比183億円 (59.8%) の増加。全体では162億円 (21.7%) の増加。



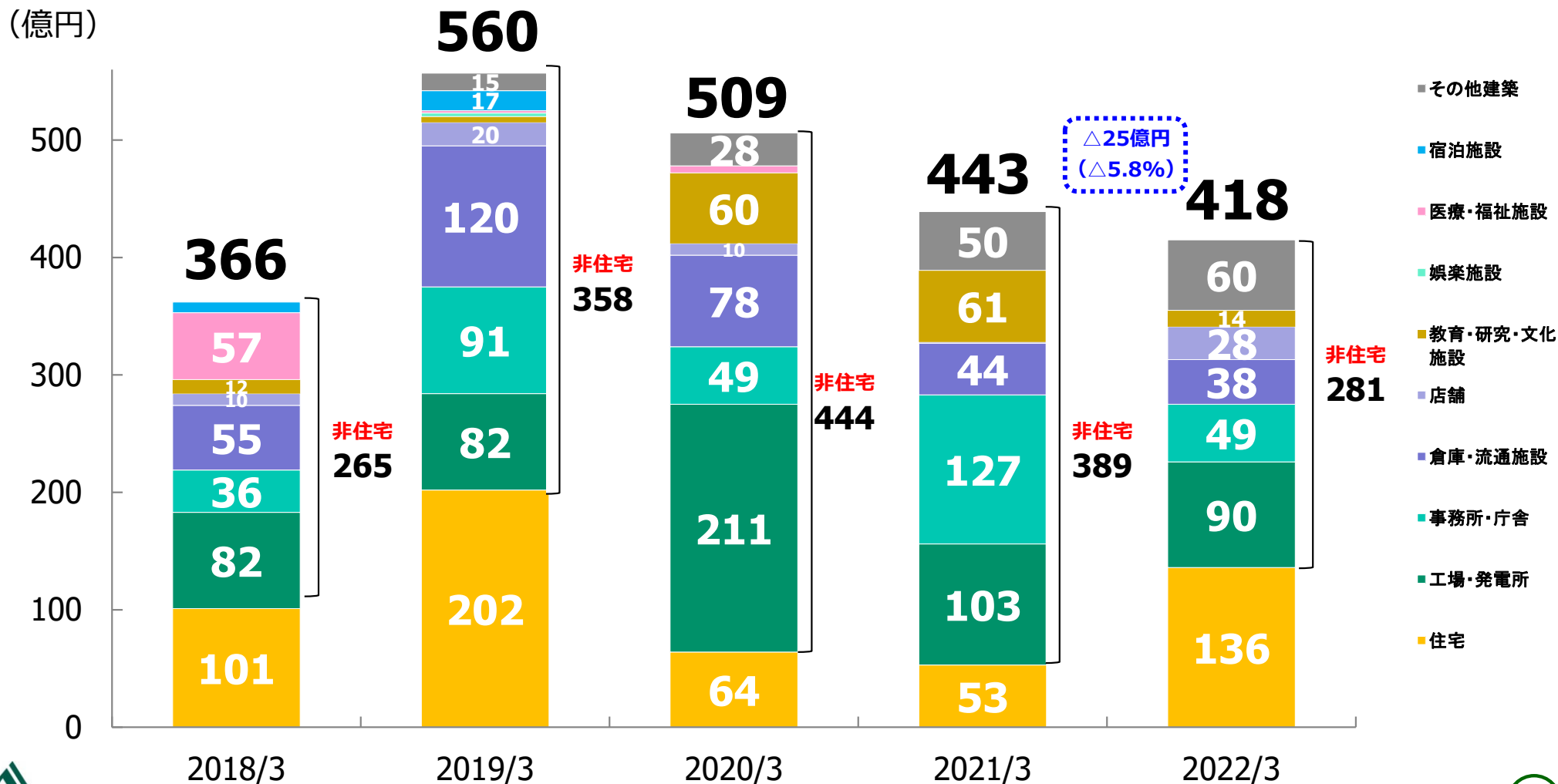
建築受注高（個別）

（億円未満切捨）

- 非住宅分野は店舗が増加したものの前期好調であった事務所・庁舎の減少をカバーできず、全体で**減少**。住宅分野は大型の市営住宅集約化事業(PFI事業)の受注により**増加**、建築全体では前期比**25億円（△5.8%）の減少**。

10億円未満の分野は数値の記載を省略。

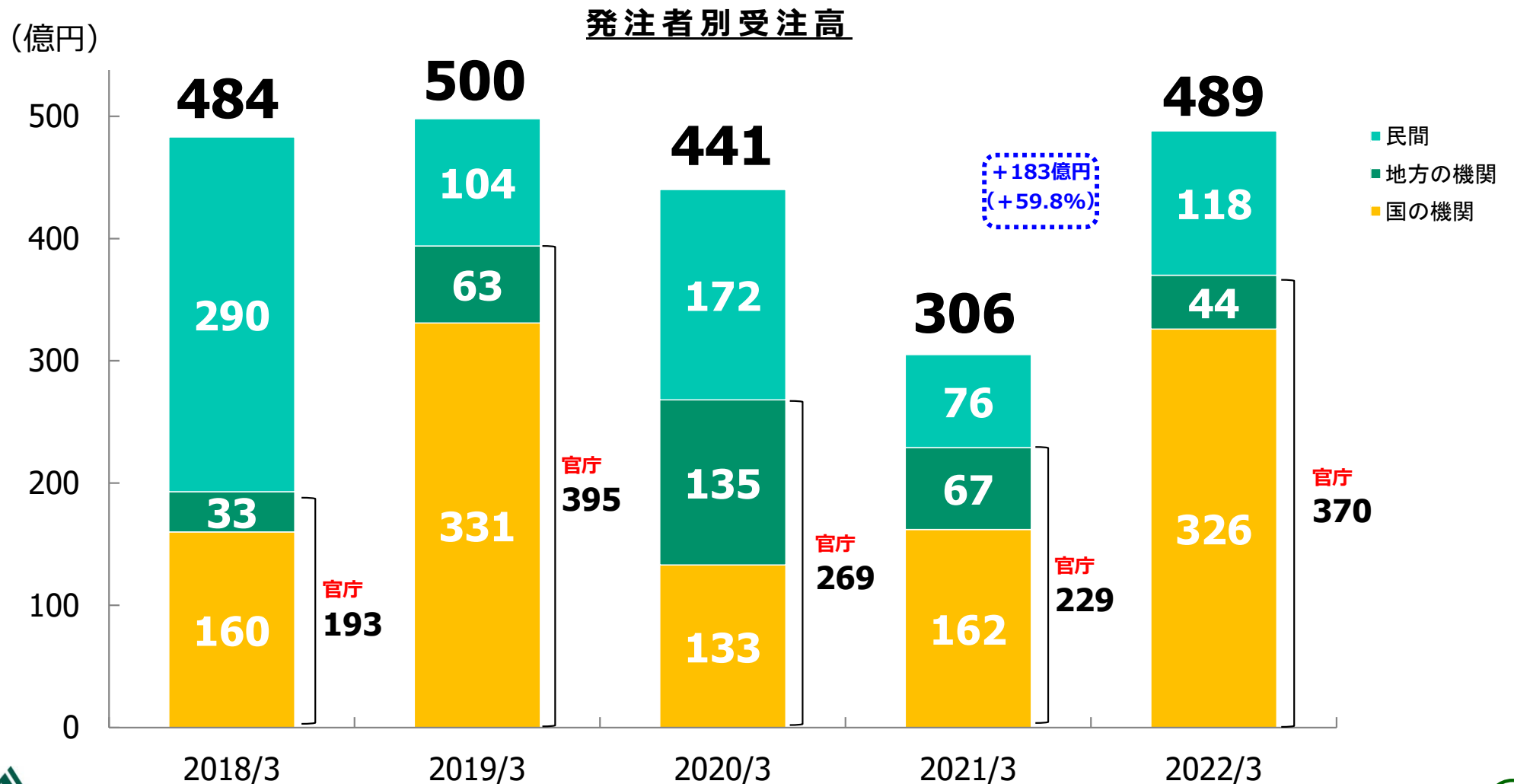
用途別受注高



土木受注高（個別）

（億円未満切捨）

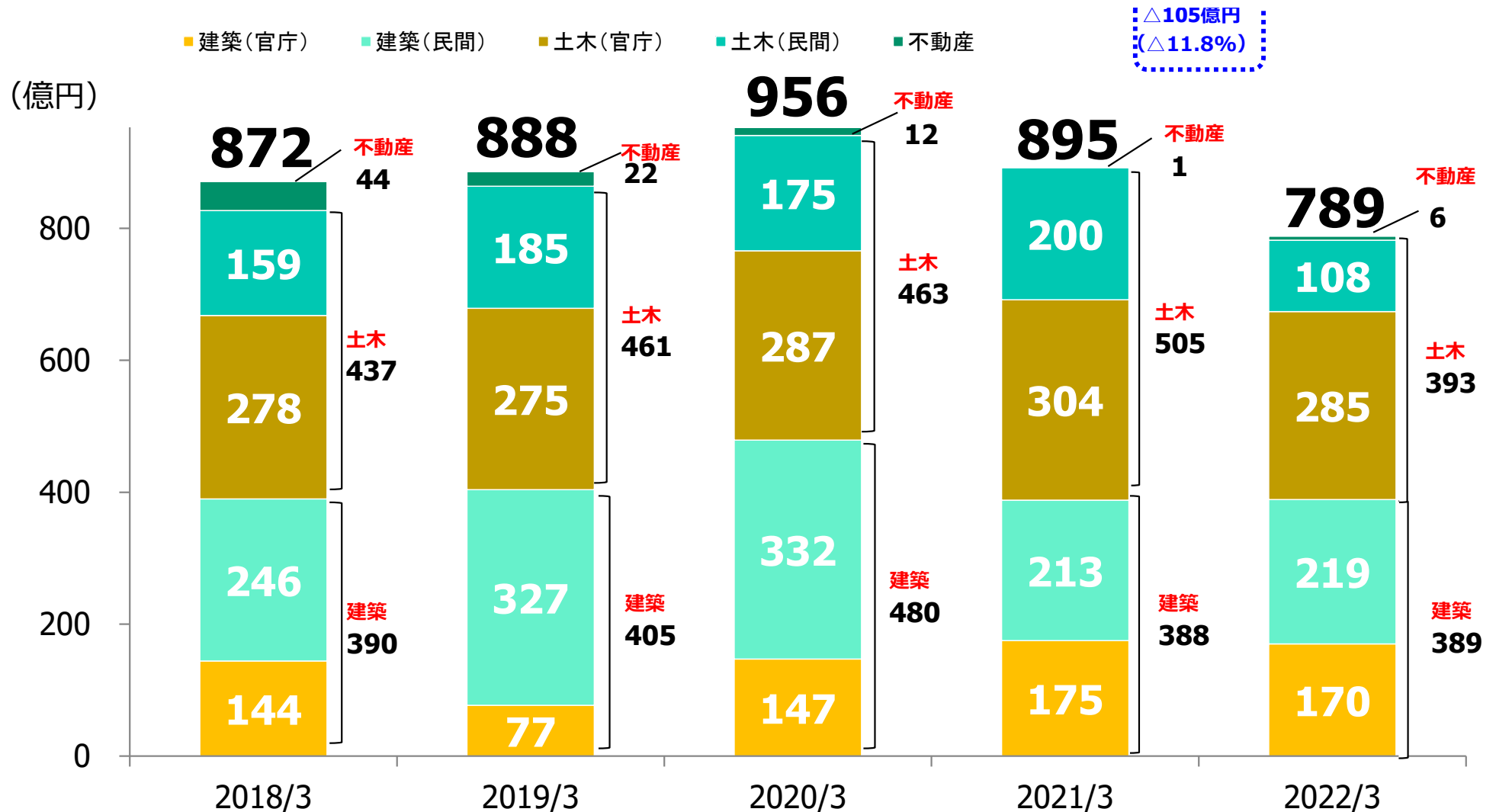
- 官庁が大規模耐震補強工事の受注等により**増加**、民間が再生可能エネルギー分野で大規模造成工事を伴うメガソーラー案件を受注したこと等により**増加**し、土木全体では前期比**183億円（59.8%）の増加**。



売上高（個別）

(億円未満切捨)

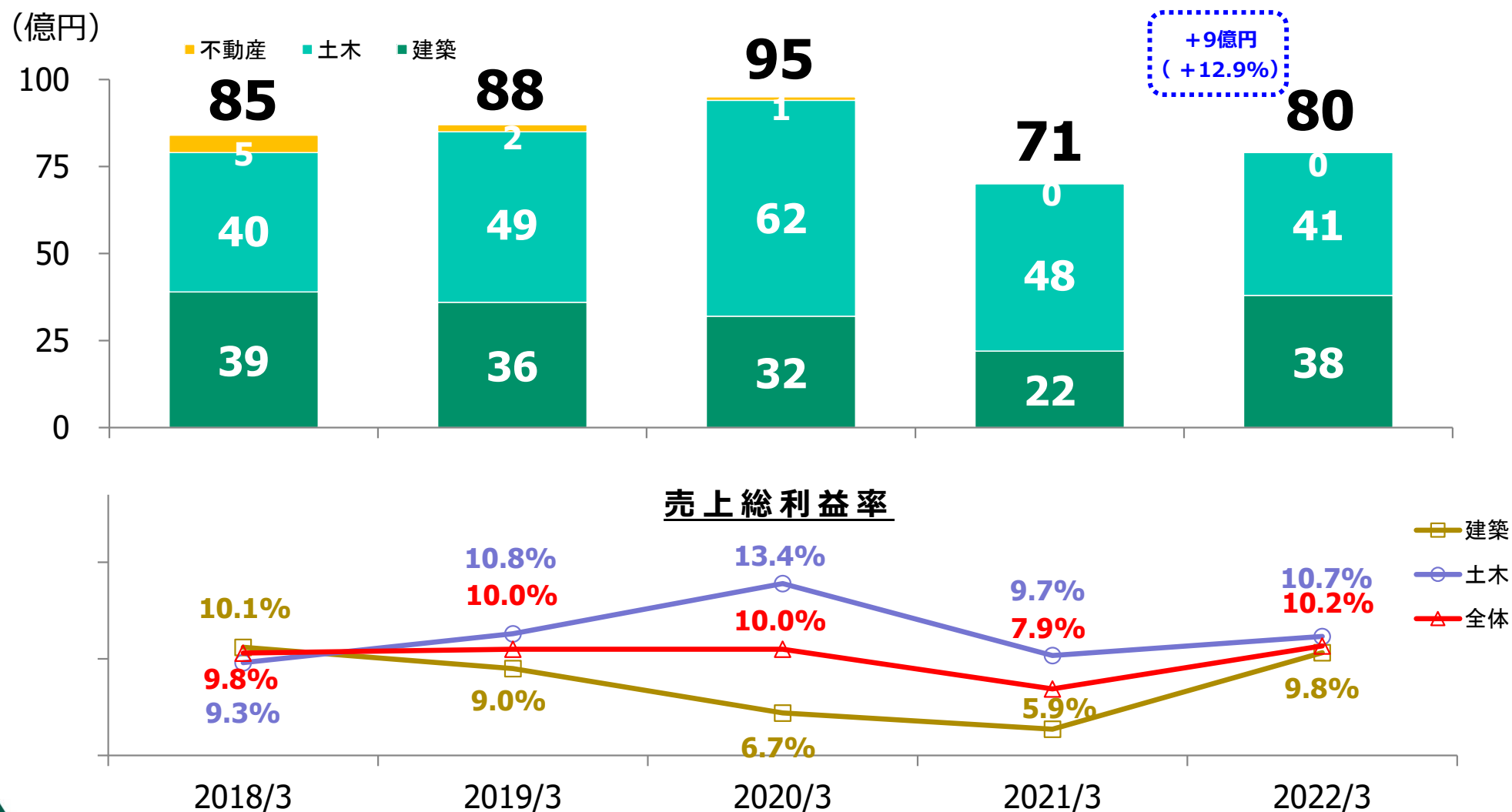
- 建築は手持工事の順調な進捗により前期比**増収**。土木は受注した大型工事の大半が準備工事のみであったため、出来高に大きく寄与せず前期比**減収**。全体では前期比**105億円 (△11.8%) の減収**。



売上総利益（個別）

(億円未満切捨)

- 建築は前期に低採算工事を一掃したこと等により、前期比**増益**。土木は売上高の減少等により**減益**となり、前期比**減益**。全体では前期比**9億円（+12.9%）の増益**。



2023年3月期年度経営計画 説明

業績予想サマリー

(億円未満切捨)

- 受注高は新型コロナが経済活動に与える影響が不透明だが、基本戦略の着実な推進により**増加**を見込む。
- 売上高は豊富な繰越工事の順調な進捗等により**増収**を見込む。利益面は増収による利益増加により**増益**を見込む。

	個 別			
	2022/3	2023/3		
	実績	年度計画	予想	前期比 増減率
受注高	913 億円	930 億円	930 億円	+1.8 %
売上高	789 億円	810 億円	810 億円	+2.5 %
営業利益	23 億円	24 億円	24 億円	+1.3 %
営業利益率	3.0 %	3.0 %	3.0 %	—
経常利益	37 億円	36 億円	36 億円	△4.5 %
当期純利益	26 億円	28 億円	28 億円	+4.1 %

セグメント別業績予想

(百万円未満切捨)

(単位：百万円)

	2022/3	2023/3	
	実績	予想	前期比増減率
受注高	91,386	93,000	+1.8%
建築	41,808	46,000	+10.0%
土木	48,913	47,000	△3.9%
不動産	664	—	△100.0%
売上高	78,991	81,000	+2.5%
建築	38,990	41,000	+5.2%
土木	39,336	40,000	+1.7%
不動産	664	—	△100.0%
売上総利益	8,033	7,950	△1.0%
	(10.2%)	(9.8%)	(△0.4 _{ポイント})
建築	3,829	4,030	+5.2%
	(9.8%)	(9.8%)	(+0.0 _{ポイント})
土木	4,192	3,920	△6.5%
	(10.7%)	(9.8%)	(△0.9 _{ポイント})
不動産	11	—	—%
	(1.8%)	(—%)	(△1.8 _{ポイント})

(%) 値は売上総利益率を示す。



AsunaroAoki

青木あすなる建設

ご注意：本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。